

令和2年度第2回岡山県立博物館協議会議事概要(要旨)

日時 令和3年3月18日(木) 10:00～11:30
会場 ピュアリティまきび 3階「橘」
出席者 委員：村木議長、岡本副議長、小田委員、山崎委員、美咲委員、池田委員、岡野委員、
光本委員、三田委員、内田委員、神辺委員、鳥井委員
博物館：高見館長、塩田副館長、横山総括参事、重根学芸員(主幹)、秋山学芸員(主幹)、
野田学芸員(主任)、宇垣学芸員(主任)、岡崎学芸員、平井主幹
文化財課：小林課長
欠席者 清友委員、延江委員、伊勢崎委員

1 開 会 高見館長あいさつ

2 議 題 (1) 県立博物館耐震改修工事等について (2) 第3次岡山県立博物館中期目標の策定について (3) 長期展覧会計画について (4) その他

【委員からの質問(回答)・意見・提案】

議題(1) 県立博物館耐震改修工事等について

- ①来館者用のトイレの改修はどうなっているのか。(質問)
⇒近年、洋式化及び自動照明などの改修をしており、現状を継続して使用する。(回答)
- ②前回も休館中にも岡山県の文化財のPRが必要という話があり、京都や様々なところに収蔵品を移動していると思うが、どのようなものを各施設に移動しているのか(質問)
⇒県外では、京都の博物館に仏教美術を中心とした指定文化財等を移動・保管してもらっている。県内では、県立美術館に、指定文化財等で、国、県、市町村から預かっているものや、長船刀剣博物館に指定文化財以外の刀剣類を預けている。京都の博物館では、先月まで展覧会を実施していた。長船刀剣博物館では、館蔵品等の展示もしてもらい、来年度も展示をしてもらえるという。(回答)

議題(2) 第3次岡山県立博物館中期目標の策定について

- ①キャプションのところで、実績が「多言語パネルを配置」と書かれていて、中期目標値に「英語・中国語・韓国語表記」となっているが、これまでのものをどう変更していくのか(質問)
⇒解説シートの英語表記はほとんど直訳で、その背景にある日本の文化や歴史の理解があって、それが理解できるようになっている。ただし、外国人旅行者にはそこまで背景がわからないので、そういう方にもわかるように文章を作り直すことを検討している。(回答)
- ②館内外の案内板等で、英語とか、各国語対応はできているのか。また、受付等で外国人に対して会話を受け答えはできるようになっているのか(質問)
⇒外国人来館者に対して、注意事項などの英語表記は行っている。受付では、入館料の説明など、簡単な受け答えはできるようにしている。(回答)
- ③資料の収集と保存で、第2次中期目標では、費用の問題がクリアできれば受け入れられるということであったが、今回は収蔵庫の空きがなければ受け入れが不可能というように示されている。また、寄附、寄託の受け入れの内容についても、「積極的な」を消してある。一方で、使命の一つ目に「所有者・自治体・関係機関等と協働して、先人達が守り伝えてきた文化財を収集・保存し」となっている。収蔵庫に限りはあると思うが、使命の一つ目を活かして、「積極的な」という言葉を残して欲しい。(意見)
⇒収蔵する場所がなく、現実問題として断っている場合もあるため、「積極的な」とは書けないのが実情であるが、館の収蔵能力を増やす努力は検討してしていきたい。(回答)
- ④資料の活用のところで、文化財の資源として振興のために使っていくという文言があるが、それだけで人が来てくれるような物が大事にされていて、学芸員が救出に行かないとなくなってしまうようなものが捨て去られてしまうのではないかと思いますので、そのようなことも文言に反映して欲しい。(意見)
- ⑤文化財保護法が改正されて、文化財を稼がせるという風に言われているが、一過性のものに終わらせないためには、学芸員の地道な調査研究が必要だと思うし、むしろ一見、稼げないように見える物も背景をきっちりと研究していくことは大事だ。調査研究を積極的に位置づけて欲しい。(意見)

⇒観光地の多くは文化財で、既に観光資源となっている。新たな文化財を見つけてその価値を明らかにしたり、既知の文化財の価値を見直して情報発信することによって観光分野等での集客を目指すということは考えている。

⑥使命のところの2行目に「後世に継承していくとともに、これらを発信する」というところで、Ⅱの「伝えよう岡山の文化」の内容のところが落ちているように思う。一方で、伝えようという考え方は教育普及の考え方で、教育普及というのは文化財保護法的なスタンスで書かれているのかなと思うが、実際にやっていることは、教育普及だけでなく、積極的な学校への学習支援であるとか、あるいは生涯学習への貢献であるとか、文化財の普及啓発で始まるけれども、社会教育全般に貢献しているところがあると思うので、そのあたりのところが使命の中に盛り込むかどうかというところを検討していただきたい。(意見)

⇒文言については、検討していきたい。

⑦オンライン講座の所で「新型コロナウイルス感染症」の事が書かれてあるが、令和4年9月に発出するものに対して、この表現がふさわしいかどうか。また、GIGAスクール構想によって、高等学校では来年度から生徒1人1台端末が実現する。既に高校では、世界の博物館とやりとりをする学校もある。時代背景のようなものが最初の一文に着くと、目標として前向きな感じを持つのではないか。館内授業であるが、現在の高校生はみんなスマホを持ち、バーチャルな時代の中で、本物に触れる機会はとても大切だと思う。令和元年度の実績に対して9年度の目標が下げる感じになっているが、できれば、同じ数値で検討していただけないか。(意見)

⇒文言や数値については、検討していきたい。

⑧オンライン講座について、具体的な内容がわかれば教えて欲しい。(質問)

⇒実際に来られる方と、Zoom ウェビナー等を利用する方で講演会・講座等に参加してもらうことを考えている。また、講座や講演会の映像を録画して、後でホームページで見れるような事も考えている。(回答)

⑨「地域社会と協働の展覧会の開催」で、これまでどういった団体と協働していたのか、また、今後どのような団体と協働するのか。(質問)

⇒展覧会毎に関連性のある団体と協働を行ってきた。今後については、具体的な展覧会の内容を踏まえて考えたい。(回答)

⑩課題を自分で見つけて具体的に取る、そういった子どもたちを育てるためには、オンライン講座や出前授業の中で、直接学芸員の方に質問をするといったような、直に交流が出来る形になればいいと考えている。もっと身近にやりとりさせてもらえるような活動を考えていただきたい。(提案)

⑪リアルとリモートの問題もあるが、実際に実物を見せよう、これに勝るものはないと思うので、しっかり来ようように仕掛けをしていくことがいいのではないかなと思う。(提案)

⑫吉備の国ジュニア歴史ハイスクールがなくなったが、それに代わって小学校単位で博物館を利用してもらうものはないのか。(質問)

⇒学校単位ということでは、館内授業等があるが、吉備の国ジュニア歴史スクールの代わりについては検討中である。(回答)

⑬使命の「Ⅰ 繋げよう岡山の歴史」の「現在、少子高齢化社会を迎え、担い手不足による・・・」となっているが、使命の部分は端的に、やるべき事をやるというスタンスでいいと思う。Ⅱ、Ⅲはそういった理由は書いておらず、やるべきことをズバリ書いているので、使命が一番最初に来ることでもあり、理由付けのようなことはあえて書く必要はないと思う。(意見)

議題(3) 長期展覧会計画について

①令和4年度の、みなさまからいただいた「逸品」というのはどのような物を想定しているのか(質問)

⇒通常の展覧会では、一つのテーマの中で展示をしていくので、いいものではあるがなかなか展示する機会がないというものもある。例えば刀剣であれば、岡山といえば備前刀や備中刀が中心となるが、それ以外でも優れた刀剣を所蔵しているものの、岡山ゆかりの備前刀や備中刀と合わせて展覧することはない。そういったものをこの機会に展示していきたい。(回答)

議題(4) その他 意見等なし